

**【高確率で儲かるかも？動画学習】**

**「未来の2023年までの世界のGDP推移」を知る！**

⇒編集後記で

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

サイン数は絞ってるため少ないものの・・・  
今日でなんと52連勝してます熊本さんの案件。

(個人的にはここまで勝つとは思ってなかった。すごいですね)

そのバイナリーシステムの説明会がいよいよ  
東京、大阪で最後と聞いてますね～

■月利40%バイナリーオプション説明会(無料)

**新大阪 2月24日 14時-17時**

**<https://1lejend.com/stepmail/kd.php?no=JqOrkldA>**

**東京：渋谷 2月17日 14時-17時**

**<https://1lejend.com/stepmail/kd.php?no=JqOrkkeq>**

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

どうもゆうです。

こんにちは！

さて、私は日々投資対象先を選定するとき

これからのマクロの流れってのを大変重視するのですが

(いわゆる環境認識)

結構ネットで投資家にとっては

面白い動画を英語圏のやつだけで見つけました。

(けどビジュアル分かりやすいので  
特に英語分からなくて大丈夫です)

これが1980年から未来の2023年までの

GDP推移を示しているものなんだけど

これがまあ分かりやすくて、

単純に言いますと

「これに沿って長期投資したら

~~~~~

普通に誰でも資産伸びるでしょ」

~~~~~

(100%とは言わないけど相当高い確率で)

っていうものでした。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【動画学習】 1980年から「未来の2023年までの世界のGDP推移」  
を知る！

⇒ <http://www.snatchfx.com/2023gdp>

(上から2番目のJAPANが日本ですね。)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

世間的には「投資は損して難しいもの」と日本では

特に考えられますが

世界では結構成長国がどんどん増えてるので

「投資してお金増えるのは当たり前」って価値観だったり

するわけですね。

ただ・・・これは実は情報教材で情報がすごい少ないんです。

たぶん「簡単すぎるから」だと思います。

あとはなんとなく「海外＝怖い？」みたいな

イメージ、先入観からだと思う。

それで今日はその動画も見ながら

「2023年までに世界はどうなるか??」を

一緒に考えましょう！

そして日本人の多くが手をつけていない

「儲けのチャンス」を見つけていきましょう。

ちなみに読者さんで長期投資で世界に投資していく方法知らない

って人が多いからそれも簡単にだけど書いていきます。

特に今回の動画はとても分かりやすいので

見てみるといいでしょう。

編集後記で！

**PDF 【98%のサインを弾いて勝率99%のサインだけ入る理由とは？】**

**[http://fxgod.net/pdf/99percent\\_system.pdf](http://fxgod.net/pdf/99percent_system.pdf)**

=====**編集後記**=====

さてさて、私はこの前この動画を見つけまして

「お～～めっちゃ分かりやすいな」ということで

なかなか感心しておりました。

今は日本のGDPなんかはPPPベース（購買力平価ベース）

だともう アメリカだけじゃなくて中国 China やインド India に抜かれて

世界4位になっていますが

その日本 Japan なんかは以前は2位だったんですね。

そこで新興国がどんどんそこから這い上がって

GDPを伸ばして日本を追い抜いているのがこの数十年ですが

この動画が結構面白くて

世界各国のGDP推移が1980年代から

未来の2023年代まで

アニメーション形式で見ることができるんですね。

これはすごい価値ある動画だな～なんて見て思いました。

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

【動画学習】 1980年から「未来の2023年までの世界のGDP推移」  
を知る！

⇒ <http://www.snatchfx.com/2023gdp>

(上から2番目のJAPANが日本。)

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆



これ面白くないですか??

世界各国のGDPが1980年から30年間くらいで

どのように推移していくか??

ってのが過去から未来まで見ることができるのですが

面白いのが2023年あたりまでのデータを見ることができる

ってことですよね。

ちなみに一応今は2019年ですから

2023年っていうと「未来」になるわけですが

100%このようになるとはいえないものの、

大体世界各国のGDP推移が分析によると

このような感じになるって言われてるんですね。

特にイギリスのファンドなんかは大体このような

GDP推移を世界各国がたどるという見方をしていることが

多いですし、実際そうなるでしょう。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【動画学習】 1980年から「未来の2023年までの世界のGDP推移」  
を知る！**

⇒ <http://www.snatchfx.com/2023gdp>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

それでこれを見るとやはりアメリカの一位ってのは

ずいぶん長いこと、続いたのだな～～って分かりますが

日本も経済大国としてかなりの地位を築いていたってのが

分かりますよね。

1990年くらいあたりまでは、日本も

世界2位の経済大国として奮闘していた。

が・・・その後ろにダークホースのようにすごい勢いで

GDPを伸ばしてる国があって、

それがまず中国でした。

その様子がこの動画ではGDP推移がまざまざと

記録されてるので

大変面白いと思います。

それで2020年代にまず中国が日本を抜くんだけど

動画の2分50秒くらいから、

1980年から開始して、

2014年に中国のGDPがPPPベース、購買力平価ベースで

アメリカのGDPを抜いてますね。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【動画学習】 1980年から「未来の2023年までの世界のGDP推移」  
を知る！

⇒ <http://www.snatchfx.com/2023gdp>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ちなみにこれは世界基準というもので

最近の世界の投資家たちがマクロの状態見るにあたって

最近は 日本で採用される通常のGDPを使わなくなっていて

物価水準なども考慮したPPPベースのほうがリアルな

経済状態を俯瞰できるってことで

PPPベースが採用されることが多いですね。

それで、このPPP購買力平価ってのは

検索すれば出てきますが、

もうこの購買力平価ベースでは

世界のGDP 1位ってのは中国なんですね。

これは、2014年にメルマガでも扱いました。

それで、GDP 2位がアメリカ。

ただこれはさすがに色々国内の報道では

アメリカが一番でないといけないから

問題があるってことでして

だから日本では PPPベースの購買力平価ベースの

GDPは採用されないけど

英語圏ではもうPPPベースのGDPが普通に

使われるようになってますし、

**(特に世界に投資するファンドなりの投資家たちは良く使う)**

**また年収基準なんかも日本では平均を使うけど**

**格差部分があいまいになってしまうので**

**中央値 median を使いますよね。**

**投資家はその国の国民たちの実際の購買力とか**

**経済成長性を見出したいわけですが**

**そこでやはりGDPはPPP（購買力平価）ベース**

**所得なんかは中央値を見るようになってるわけです。**

**それで、2014年には中国がGDP 1位になっていて**

**GDP 2位がアメリカなんですけど**

**この動画が大変面白いのが、**

**2019年以降の動きも分析機関の情報を元に**

**描写されてるんですね。**

**それで個人的にはインドネシアにも投資開始してるので**

**インドネシアも見てるんですけど**

**このインドネシアも中国に似ていてすごい勢いで**

**GDPを伸ばしてくるってのがこの動画見ると**

**分かると思います！！**



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【動画学習】 1980年から「未来の2023年までの世界のGDP推移」  
を知る！**

⇒ <http://www.snatchfx.com/2023gdp>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

それで2019年の今年以降の動きも描写されていて

それが3分15秒くらいから、ですね。

ここで、伸びがすごいのがインド India だったり

インドネシア indonesia だったりしますが、

そこで「イラン Iran」なんかもやはりメルマガで書いてきた流れで

どんどんダークホース的にGDP上昇してますよね。

この動画、テレビなんかで放送したら絶対面白いと

思うんですけどね・・・

まあなかなか今だと難しいでしょう。

それで私ゆうなんかは中国株なんかも投資してるのですが

やはりこれ見たら・・・なんとなく理由分かると

思うんですね。

2014年に中国のGDPはPPPベースでアメリカを

抜いて1位になってますが、

その後・・・すごい勢いで伸びてると思います。

このPPPベースのGDPってのはそのまま

その国の国民の購買力につながりやすいのだけど

要するにすごい購買力が中国で今後も生まれることを

示唆してます。

たぶん、日本では「中国への投資なんて危ない」っていうのが

こう世間の常識かと思えますし

私も中国崩壊論はよく知ってるんですが、

少なくとも、

世界の英語圏の人らで冷静にマクロの動き・統計を

見ている人たちは

中国のGDPが購買力ベースでもっともっと

伸びていくってのを想定していて

中国市場に資金投下をしたりするわけですね。

(特にイギリスのファンドたちがそれやってます。

私の情報だと)

中国は高齢社会で云々かんぬんで、とか言う人いるけど

そこで中国の巨大化が止まるという想定は

確率的には優位性がないと言えまして、

まだまだ成長期で、これから、という感じですよ。

またインドネシアやインドなんかもどんどん経済を拡大する

ってのが分かりまして、

個人的にはインドはまだ投資していないのですが

やはりインドの投資なんかも相当世界の環境的には

手堅いのだな、

っていうのがこれ見て分かりますね。

それでイランと言えば、結構危ない国というイメージが

どうしても日本人にはあると思いますが

これは政治経済の記事でよく書きますが

どう見てもイランは伸びますし、

それは統計的にも明らかになってきてるってのが

この動画見ると分かります。

**だから優秀な世界の投資家、**

**優秀な日本人投資家たちは**

**色々工夫してイランに投資している**

**のだと思う。**

**それで・・・この動画見たら・・・**

**「日本だけに投資するって相当ナンセンス」**

**って分かりますかね??**

**これは別に日本株だけやってる人をディスる**

**わけではないですが、**

私の中では「日本株だけ投資する＝相当難易度高い」

と、思っています。

(これはドル円だけ取引にも言えると思います)

だって、上の動画見ていただければ分かるように

明確なこれからの成長力ってのが統計的に立証するのが

難しいのが日本市場なんですね。

ひょっとしたら政治が変化して、

一気に伸びることも無いわけではないと思いますが

ただ世界はそう見ていないと。

2023年だから4年後5年後くらいまでに

日本の成長力が復活するかどうかは・・・

ちょっと分からない。

一方もう投資先として

確実なのが 賛否両論あっても

冷静に感情抜きで見ると

中国やインドネシアやインドや

イランや、あとはブラジルとかですよ。

(これを見るとブラジルは結構安定型の成長。)

たぶん日本に投資家は結構いるけど



「中国やインドネシアやインドや

イランや、あとはブラジル」

に投資してる人は「相当変人」の部類だと思われませんが

やはり私はこの地域に資金投下していくってのが

確実だろうと見てたりもして

変人なので資金投下してます。

あとはここに北朝鮮も加わりそうってことですね。

(これはまだ未確定だけどいずれ加わる。)

それで世間的には 安全な??投資先として

米国株なり、米国系の資産が良いとされるけど・・・

このGDPの統計データ見ると「本当かな？」

って思いますよね。

アメリカは確かに中国に2014年に抜かされても

2位を維持してるけど・・・

このグラフ見ると その後ろに

「インド」が迫ってます。

このグラフの伸びからするとたぶんですが

アメリカは2030年代にはインドに抜かされるんですよ。

---

---

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【動画学習】 1980年から「未来の2023年までの世界のGDP推移」  
を知る！**

⇒ <http://www.snatchfx.com/2023gdp>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**インドのGDPの増え方が恐ろしいくらいですけども  
すごい勢いです。**

**私はインドは行った事ないんだけど  
インドも行かないとなって思ったくらいです。**

行けば、どんな企業が勢いあって、

どんなサービスに需要が生まれてるのか

体感で分かります。

これ、ジムロジャースから学んだ投資法で

精度高いですよ。

それでももちろん100%とは言わないけど・・・

おそらくですね、

この動画にある統計データを下に

投資していったら

「長期保有前提（少なくとも5年10年は不動産のように持つ）」

となりますが

普通に「誰でも利益出るんじゃないかな??」

つてのが

私が個人的な意見として考えていたことです。

というのは私は一応このメルマガ、

私が書きたいことが多い人間で、

趣味もかねてるのだけど

やはり「自分で稼ぐ」を前提としているから

やっぱり読者でキレイゴト言うと全員は無理かも

しれないけど

なるべく精読してくれてる読者は全員に近い比率で

稼いでほしいとは思ってるわけです。

単純にこれは読者さんも自分の立場に置き換えてみると

分かりますが

キレイゴト抜きで

読者が稼げるようになった

余裕ある金持ちばかりのメルマガと

読者がみんな 稼げないで嫉妬心満開で

即金ばかり好むような読者ばかりのメルマガだったら

前者のメルマガ運営したいですよね??

んでやっぱり個人的には稼げてる人が多いメルマガが

良いと思ってるのですが

そこで思うのが「投機」と「投資」の勝率の違いです。

例えばFX、バイナリーなんかは短期決済だから

投機の性質があるのだけど

読者の間でどうしても稼いでる人はがんばって検証する人に

偏るから、比率は投資と比べて稼ぐ比率が低下すると

思ってます。

ただ稼げるようになったらでかいんだけど。

一方 長期保有のまさに「投資」になると

ちゃんとしたマクロの大きな俯瞰した視点の戦略さえあれば

実践した人がおそらくほとんどの人が結果出せると

私は見てるんですね。

んで最近はすごい時代でこういう動画がありますから

未来でどういう国が台頭するか??も

相当な精度で分かっちゃう時代

なんですね。



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【動画学習】 1980年から「未来の2023年までの世界のGDP推移」  
を知る！**

⇒ <http://www.snatchfx.com/2023gdp>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**だから単純にこれらの成長期待できる国々に**

**長期投資で、**

**すなわちすぐに利益出たら決済しないで**

**5年間10年間は利益伸ばすという考え方であれば**

**たぶん誰でも利益は5年10年の単位で出せるのではないか？**

というのが私が考えていたことです。

ただ、ここで問題があります。

「海外とかなんか怖い」とか

「そもそも海外の株式とかどうやって投資すんねん」

みたいな話です。

ちなみにですが今号を書いたのは理由があって

私は韓国で今韓国語なりを勉強してたりもしますが

最近驚くのが 「世界投資のCM」をよく韓国語で

見るんです。

アプリがあって、そのアプリで世界中の企業の

株式、投資先が出てきて、

タップして普通にアプリで韓国の現地通貨で

株買えちゃうサービスって出てきてるんです。

んでこれがCMが面白くて

女の子が「世界に投資しよ～～えい！」みたいな

ノリです（笑）

日本では考えられないノリですが、

韓国の人なんかは最近世界に投資しだしてるんですね、

若い人が。

一方私なんかは アメリカとか日本も一応投資してるものの

メインが中国やマレーシアやインドネシアや韓国と

考えているのだけど

(あとは金地金)

やっぱり変な目で見られるというか

あまり周りでそのようなところに投資してる人って

見ないんです。

たぶん日本的な「みんながやらないからやらない」

んだとおもいますよね。

けどこれは勿体無いな～と私は思っていて

世界では発展してる国がボコボコ誕生してるのに

みすみす、みんなそのチャンスを逃しているわけです。

ちなみに・・・長期投資とか言うとかっこつけてますが

実際は資金投下して、

あとは配当金とかもらって何もしないだけ

ですよ。

最初だけはその企業の調査を数ヶ月はしますが

もう資金投下したらあとは言い方悪いですが

ほったらかしに近いですよ。

これはローレンバフェットの投資を色々勉強したら

真意は分かると思います。

以前、山口さんがおっしゃってましたが

お金に働いてもらうのが投資ですから

本当はこれが王道なんです。

FXやバイナリーとかネットビジネスは

それらの投資金を作るための短期的な手段に

過ぎないというか。

(ちなみにそこで学んだ短期的な分析方法は

そのまま長期分析で活用できる)

それで日本の場合もいろいろ調べると

最近はこの数年で世界の企業に投資できる環境が

整ってきていて、

さすがにアプリでワンタップとは行かないまでも

各証券会社で上記の国々への投資ができる国が多いです。

なので、読者さんが上の国で気になった国があったら

「●●（国の名前） 株式投資 証券会社」

とかで

検索すればすぐに出てくると思います。

昔はそんな投資するのは本当のプロだけでしたが

今は個人で世界の企業に投資できちゃうのが

日本人の 恵まれた環境です。

いずれ日本でも韓国のようにスマホでワンタップで

世界投資する時代になるでしょう。

んで、実は私はこの世界投資は某数十万円の塾で  
以前学んだんだけど

これがですね、一応米国株投資の塾だった。

けど、「別に米国株じゃなくてもいいよね」となって

他の国も探したんだけど

そっちのほうがやってみたらリターンがすごいんですよ。

米国株は安全と言われるけど

上の動画見たらアメリカも2位だけど

勢いを失いつつあるのが分かりますし



米国株が良いっていうのは1990年代の話だろうな

なんてのも思うわけです。

それよりもこれからはBRICSなんかの国に

資金投下するほうが効率的に良い投資だと言えまして、

これは短期では急落なんかはあるんですけど

やはり鉄板な稼ぎ方だな、って思いますよね。

ただ、この世界投資の案件ってのがなぜ業界で

少ないのか??という理由があつて

まず「教えたくない」ってのがあると思います。

人数増えたら儲けずらくなるのは経済法則ですから

まずそれがあると思います。

あとは「人気が出ない」ってのがああると思います。

これは「海外」って聞くとなんか日本人は海外アレルギーが

すごいですから やっぱり日本株が安心するものなので

だから株だと日本株の塾が中心なんです。

けど・・・よく見てみると分かるけど

この大きな世界経済のマクロの流れの動画見て

日本株に投資するってどうなんだろう??

と思いませんか？

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【動画学習】 1980年から「未来の2023年までの世界のGDP推移」  
を知る！**

⇒ <http://www.snatchfx.com/2023gdp>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**どうしても日本株で利益出すなら短期投機にならざるを得ない**

**わけですよ。**

**10年単位で持つバフェット式の長期投資ってのは**

**日本株では相当難しいってのも動画の**

**GDPのバーの様子見たら分かると思います。**

成長が不安定すぎる。

ちなみになぜ日本では 短期投機が人気で

長期投資が人気ないか??

というところは理由があって

「30年間衰退してきたから」ですよ。

非常に日本の事情は世界で特殊なんです。

他の国はどんどん成長する中、日本はあまり成長できていない

のです。

これは動画見たら分かったと思います。

が、これは投資心理学で

「自国へのバイアス」ってのがあると言われていて

日本人は日本株に投資したいし

アメリカ人はアメリカ株に投資したいし

韓国人は韓国株に投資したい

のですね。

これは心理学でも説明されてることです。

が、それは合理的な選択とはいえない。

だからまず大きく世界を見て

「投資対象国」を探すと言うのは大事ですね。

それで今の時代はネットで注文できてしまう時代ですから

それで株買って、長期保有すればいいわけです。

結構簡単。

ちなみに証券会社によってはその現地の通貨を

FXで購入して、

その購入した通貨で株式買うとかの手間は若干

かかったりもしますが

最近は日本円で世界の株式を

購入できる証券会社も多いはずですよ。

それでここで「長期保有哲学」ってのはなかなか

教えてくれる人がいないから

本を読めばいいだけで、ヨーレンバフェットの書籍と

日本人だと故・竹田和平さんの書籍と

あとは「日本人が知らない海外投資の儲け方」

って書籍もお勧めですが

これらを買って読んで哲学を押さえればよいです。

ちなみにバフェットなんかは一応バリュー投資と言うけども

彼は

「教えることなんてほんとなし、すごい単純だから」

と、言いますがそれくらい長期投資って本来は

シンプルなんですね。

けども、日本人の場合は長引く不況で

この「経済成長する」という感覚がなくなってしまうので

長期投資のチャンスをみんな知らないんです。

けど、海外に投資すればすぐにでも

その長期投資のチャンスをつかめる時代ですね。

それで最近では便利なもので上記のような動画も出てきてますから

上の動画の統計は結構正確性が高いと私は判断してますが

もうこの2019年以降の成長率にあわせて

国と企業を分散して、10個くらい企業をその国で

見つけ出して、



それで保有してれば大多数の人は利益出るだろうな

と私は見ております。

ちなみに、世界への投資の事情はほとんど表に出ていないけど

実は・・・超簡単なんですね。

日本株＝難しいと思ってる人は多いけど当たり前なんです。

だって経済成長していないんだから。

テクニカル的に言えばダウ理論のダウの高値安値推移が

大変汚いのですから。

だからどうしても短期決済の技術が必要だし

銘柄のスクリーニング技術がものを言います。

これが「マクロで経済成長できていない国に投資する

難しさ」ですよね。

銘柄が100銘柄あったとしたら

スクリーニングを相当厳密にして数銘柄にしぼらないと

なかなか利益が出ないのが日本株ですよね。

けど・・・成長国の株は違って

極端な話、赤ちゃんに「これ、とこれとこれ」

って5銘柄選択させても

長期で保有してれば幾分利益が出てしまう世界です。

だから実は私が以前扱った世界株の塾、

これはニュージーランドのファンドマネージャー

社長がやってくれた塾だったけど

実践した人ほとんど稼いだと思う。

90%超えて稼いだんじゃないかなと。

それくらいイージーなんですよね。

けどこの現実が世間で知られていないこの

「乖離」ってのがすごい面白いんです。

ちなみに、世界の株式とか投資やってると

やはり「マスコミを妄信しない」とかは大事で

良くあるのが中国株なんかだと利益がすごい出てきて

含み益が拡大してる中で

含み益が減るわけです。

んでここで日本のマスコミだと

おなじみの「中国崩壊だ～経済が大変になってる～」

っていうプロパガンダが展開されるんです。

これいつも。

けどチャートみると ダウ理論で言えば

上昇トレンド中の単なる押し目であったり

エリオット波動で言えば 単なる第2波だったり4波だったり

します。

それを「大暴落～～」とマスコミたちが言っていたり

するので

そこで動転しない批判精神は必要になってくるんですね。

だから 自分 が強いことが条件になってくると思います。

逆に

「マスコミが危機って言ってるから買いた」

とか考えられる人は向いてるかな？と。

ちなみに私は株の買い付け時にマスコミが良いニュース

流していたら買わないですし

マスコミが「危機だ」と言ってるものを良く買いますが

大体利益出たりしますが

日本のマスコミと逆張りすると儲けやすいんですね。

ビットコインもそうでしたでしょう？

「ビットコインが230万円突破！」とマスコミがあおって

暴落したわけです。

だからそういう日本語の情報を結構遠巻きに

「まあいつもの感じだな～」と冷静に見ることができる視点は

大事かな？と思います。

けどそういう視点がもててる自立性の高い人は

たぶんですが100%とは言わないですが

それに近い比率で 上の動画なんかで成長する国で

企業見つけて長期保有すれば儲かるだろうな

なんてのが私が考えていたことです。

ただ不思議なのがやれば儲かる確率が極めて高いのに

なぜかみんなやらないわけですし、

それはやっぱり、海外とかそういうのに抵抗感じる人が

多いんだろうな、とは思います。

実際に海外株を扱った塾って以前1つあったけど

ぜんぜん人気なかったんです。

けど、入った人の儲けた生徒比率は1番だったかもしれない。

ただこれは当たり前で

「人気がある＝儲かりづらい」ですから

基本的には資本主義って原理原則が

「少数の金持ちを生み出すシステム」ですので

やはり人気がないものは儲けられる確率が高いのは

資本主義の法則に沿ってるといえますね。

ということで多くのタイプの読者がいると思いますが

それこそFXやバイナリーやネットビジネスで

稼いでる人たち、これから稼ぐ人たち

色々いらっしゃると思いますが

結構投資するのは簡単ですので



怖ければ 失敗もデータと最初考えて

1万円とか5万円の少額からでも実は海外投資って

できるので

そこで失敗してもたかが知れてるので

少額投資して感覚を勉強してもいいかもしれませんね。

それは将来に必ずつながります。

特に学生の読者たちはアルバイト代でまあなくなっても

いい数万円を、上の動画見て投資対象国を絞り込んで

ただ株買って放置・・・をやってみると言いと思います。

放置、です。仮にマスコミでその国のネガティブなニュースが

飛び込んできてても無視。むしろそこで買い増すくらいの

図太さがほしいですが

それは最初からできないでしょうから

最初はマスコミ無視です。

んでここで 数万円の投資であっても配当金ってのが

入ってくるので、そこで「あ、これがインカムゲインか！」

って分かってきます。

それで大体数ヶ月～1年2年もすれば大体の場合

含み益が結構出てたりするので

「あ、ほんとうにこれだけで利益出ちゃうんだ」

って分かると思います。

これを体験すれば

「最初にマクロ分析で世界経済の環境分析をするのが

めちゃくちゃ大事だ」

って、分かると思う。

今日上の動画を扱ったのはそれを感覚的に

見せてくれる動画だから 俯瞰しやすいと思って

扱ったんですけども。

まあなので、日本は金融情報って少ないものですが

実際はもう今の時代は

海外で日本以外で成長してる国に資金投じて

現地の資金需要にこたえて現地の発展に貢献しながらも

配当金もらったりできる時代ですから

本当はすごい時代です。

私は無料で書いてるし

塾とかやりませんが

意外にシンプルなんですね。

けど・・・儲かる確率が極めて高いのに

やる人がいない、ってのが日本以外の国の投資でして

これがチャンスなんですね。

なんでやる人がいないかっていうと

精神的なストッパーを日本の社会生活の中で

作られてしまってるからなんだけど

別に英語話せなくても中国語話せなくても

投資できちゃんだけど

なんとなく難しいと思ってる人が結構多いわけです。

だから世間では 儲かるのにみんながやっていないことって

実は結構あるものですね。

投資は自己責任でありますからご自身の判断ですけど

やはりこんなに簡単に何もしないで稼げる状況が

目の前にあるのに

人々が動かないってのは不思議なものだな

と私は今異国で思ったりしてます。

若い人で海外視野に入れてる人なんかは

何度もこの動画見てみるといいでしょう。

「日本だけ」になってるのがどれくらい

人生の機会損失になってるか、が分かりますね・・・

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

**【動画学習】 1980年から「未来の2023年までの世界のGDP推移」  
を知る！**

⇒ <http://www.snatchfx.com/2023gdp>

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

**追伸・・・そんでもう少し書きますと**

**「銘柄のフィルタリングの強度」を日本の場合は**

**経済成長していないからあげないと利益出づらいわけです。**

けどこれがマクロの成長が高い国の企業だと

フィルタリングが甘くても利益出ちゃうって

面白さですよ。

私は実際検証したんだけど相当甘いフィルタリングでも

マクロの基礎条件さえあれば、

経済成長の流れさえ理解してれば（今回の動画）

利益出ちゃいます。

それで基礎的な考え方を持つ必要があつて

これは日本のバフェット、竹田和平の思想だけど

「その国の経済発展に自分のカネを貢献させる」

ですね。



そう考えると長期保有できます。

そういうのがないと、すぐに含み益で人間弱いから

利益確定しちゃうんじゃないかなと。

けど「今は貧しいインドネシアの人たちが

商売やるためにこのカネが活用されてる」って思ったら

ちょっとした含み益では逃げなくなりますね。

だから自分が稼いだカネは

「その国の経済発展に自分のカネを貢献させるカネ」なんだから

贅沢しなくなるんです。

もつというところで 今の1万円が将来の1億円になるので

(複利で)

1万円浪費はもったいない思想が出てきます。

この辺が分かると、

「世界の経済成長を自分に取り込んで」

自分も豊かになるサイクルになりますよね。

読者さんもちよつと頭使ったら

「世界の経済成長を読者さんに取り込んで」

人生を進められるかな??

って私は思いました!!

追伸 2 . . . それで私はこのネット文化は  
著作権という資本主義に対立する思想ではなく  
無料で学べるのがすごい人類の革命だ、と思うから

もっと書くけど、

一応決算があるファンドなんかは

買った海外の株と同じ分量を

F Xの両建てで 為替ヘッジするんですね。

例えば 1 億円分でマレーシアリングットで

買ってそのマレーシアリングットでマレーシア株買ったら、

そこでリングット売りを F Xで 1 億円分するわけです。

こうすると為替ヘッジがなくなる・・・

というのがファンドのやってることですが

これは私は「個人投資家は」やらなくていい、と思ってます。

というのは個人投資家は含み益を利益確定しなくて

いいわけです。

バフェットも言いますがそこで利益確定してでの

税金がかかると 資産に マイナスの複利がかかるので

複利効率が悪くなったりもします。

これは発展だけど為替ってのは 相対で

決定されますね？

ドル円ならドルと円。

例えばですが可能性0ではないけど

ドル円が現在の110円前後から

数年で1000円になるのは考えずらいと思います。

けど株の場合ですと複利で長期投資は増えていきますから

そこで数年かけての長期保有の複利の力が

単利の為替損を抜いていく ケースが圧倒的に多い

んですね。

これは長期保有をやってる中でよく分かってきます。

ファンドの場合は、為替の両建てをしてヘッジをしますが

それはやはり1年とか数ヶ月で決済しないとイケない

彼らの対策だと思いますが

個人投資家は、特に決算するわけじゃないですし、

ずっと何年間も利益確定しないでも大丈夫なんです。

そうするとすごい勢いで結構含み益が増えて行ったりして

為替損が仮に発生してても結構微々たるものになる

んですね。

為替損っていう単利に近いリスクは

長期投資の複利のパワーが大体的場合

凌駕する、包み込むってのが

検証してると分かってくることです。

これは保有期間が長ければ長いほどそうなります。

そういうのが研究して分かっていると

世界にかなりのチャンスがあるってのが分かってきますね～

なので、FXとかバイナリーである程度稼げたら

長期投資なんかも色々小さなお金で

経験値をつんでおくというのも

大事ですね。

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

サイン数は絞ってるため少ないものの・・・  
今日でなんと52連勝してます熊本さんの案件。

(個人的にはここまで勝つとは思ってなかった。すごいですね)

そのバイナリーシステムの説明会がいよいよ  
東京、大阪で最後と聞いてますね～

■月利40%バイナリーオプション説明会(無料)

新大阪 2月24日 14時-17時

<https://1lejend.com/stepmail/kd.php?no=JqOrkldA>

東京：渋谷 2月17日 14時-17時

<https://1lejend.com/stepmail/kd.php?no=JqOrkkeq>

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆